

よこてfun通信

横手をもっと身近に、もっと楽しむ 交流型情報紙



んめり

TAKE FREE 2015.10 vol.1

創刊号の表紙を飾るのは、横手市出身力士 力斗(写真左)と将豊竜(写真右)。おにぎりを持った力斗をうらやましそうに見つめる将豊竜。なかなかの演技派です！4ページに掲載しているインタビューもぜひご覧ください。



高橋 大(たかはし だい)
昭和51年生まれ(39歳)
横手市牛文字町出身
(学歴)
秋田経済法科大学経済学部(現ノースアジア大)卒業
(主な経歴)
大学卒業後、東京の商事会社勤務
平成16年～ 旧・十文字町議(1期目)
平成17年10月 市町村合併に伴う横手市議選挙に当選
平成21年10月～横手市議(2期目)
平成25年10月～横手市長に当選(1期目)

ことをうれしく思います。より一層、横手出身の皆様とふるさととの心の距離が縮まる予感がいたします。首都圏で開催される横手関連のイベントも掲載しておりますので、首都圏で横手を感知される情報もこれまで以上に得られるようになります。

よこてfun通信の誕生は、故郷を離れて頑張っておられる方々に、横手も頑張っているんだなというところを感じてもらえる機会が生まれることでした。横手出身者や横手にルーツがある方、横手に関わりがある方によこてfun通信を通して情報はもちろん、横手市民の元氣もお届けしたいと思っております。そして、皆様には横手をより一層愛していただければと思います。

よこてfun通信の役割とは？

高橋市長 横手の情報や様子、魅力を伝えることです。そして会員の皆様には、横手の近況を横手に関わりがない方にも口伝えでさらに広めていただければと思います。話題の人や物産・旬の情報など横手の魅力を積極的に発信していくことで、「横手を応援したい！」という方を増やしていきたいと考えています。各ふるさと会の皆様一人ひとりと横手との絆がより強固なものとなるよう、そしてその一助になれるよう努力して参ります。

編 平成25年10月横手市長選で当選し2年。これまでの市政運営を振り返り、特に印象深かったことを教えてください。

高橋市長 最近のことで言いますと

5月に開催しました「YOKOTE Believe(※)」ですね。横手市内各地域の伝統行事やお祭り、特産品などを一堂に会して披露いたしました。県内外から多くのお客様に足を運んでいただき、また横手をまとめて見て感じていただいたのは良い機会だったと思います。特に、これまで横手市内に住みながら他地域の伝統文化や行事に触れられなかった方々がそれぞれの取り組みを知ること、新たな発見や気づきがあったのではないのでしょうか。参加した多くの市民が横手そのものをまると共有できた瞬間でした。

合併後10年が経ち、あの地域、この地域といった心の垣根を越えるための大きな一歩を踏み出せたと実感しております。

※市役所本庁舎周辺を会場に横手市合併10周年を記念して開催した、「横手市民の横手市民による横手市民のための」イベント。全地域の伝統行事、お祭り、芸能文化が集結した。

編 市長が目指す横手市の姿とは？

高橋市長 横手市には、豊かな自然、豊かな心、夢あふれる田園都市という将来像があります。都市的な利便性の追求も大切ではありますが、田園が田園らしく、そして美しい自然環境の中に横手市民の暮らしが存在すること、これが田園都市「横手市」のあるべき姿なのだと思います。これは、ただ人が住んでいるということではなく、地域の風土が生み出した文化、お祭りや行事などをしっかりと伝承することも含まれています。これを守り続けるためには、地域、職場、家族などさまざまな協力が必



秋田県横手市フェア/8月1日～2日、首都圏の九州屋各店舗にて、横手産「あきた夏丸スイカ」のPR・販売を行いました。ミス・フレッシュ秋田と共に、横手の特産品をアピールして参りました。【小田急町田にて】

要になってきます。もちろん、基幹産業である農業の振興も重要です。なぜなら、農業の衰退は地域の衰退に直結すると考えているからです。農業をはじめとする産業の振興と雇用の創出・地域の付加価値の創生、これが横手市が目指す姿ではないかと考えます。

編 ふるさと会の皆様をはじめ、よこてfun通信をご覧になっている方々へメッセージをお願いします。

高橋市長 各ふるさと会の皆様、ふるさとへの深い愛は常々感じております。そのような気持ちに込められるよう、そして皆様が横手市出身だと胸を張って言える市であり続けるため、横手市民一丸となって頑張ります。よこてfun通信や物産展などを通して横手のエネルギーを皆様に送り続けます。どうか遠く離れた地でも胸を張って横手の宣伝をしてください。そして皆様も横手にエネルギーをお送りください！ふるさと横手をよろしくお祈りします！

横手市長 高橋 大

横手市のエネルギーや魅力を伝えていきたい

編集部(以下「編」) これまでもお試し号として発行していたよこてfun通信が、さらにパワーアップしてふるさと会の皆様にお届けできることになりました。市長のよこてfun通信にかける思いを聞かせてください。

高橋市長 横手の旬の情報を広く、主に首都圏の皆様方にお届けできる

よこてfun通信に期待します

編集部(以下「編」) こんにちは、よこてfun通信編集部です。この秋によいよお休むことになりました。よろしくお願いいたします。

佐藤会長 よこてfun通信の創刊おめでとうございます。全国に存在する横手市出身者や居住経験者の想いをつなげたいという趣旨に共感しています。

編 首都圏横手市ふるさと会連絡協議会の会長をなさっているということですが、どのような活動を進めているのですか？

佐藤会長 現在、首都圏には合併前旧市町村ごとに8つのふるさと会が存在しており、合わせて3千人弱の会員が存在します。各ふるさと会が地元地域局とともに個性豊かな活動をしており、首都圏に住んでいる我々にとっては、ふるさとを感じることでできる心のよりどころもなっています。

毎年の総会は、各会ともにそれはそれは盛り上がっていますよ(笑)。8つのふるさと会は市町村合併前から交流を深めており、連絡協議会を結成して20年が経過いたしました。役員はお互いに顔見知り、良い意味で競いあひながら郷土愛を深めているところですよ。

編 会長ご自身は、ふるさとを離れて何年経ちますか？

佐藤会長 私は故郷である増田を15歳の時に離れて半世紀が経過しました。当時「生き馬の目を抜く」と言われた東京に、単身住み込みで働きまわりました。仕事先では、最初の頃は歳が若いために同僚ともなかなか話も合わず、同じく上京した中学校の同級生としょっちゅう同期会をやっていたよ(笑)。その集まりが原点となつて今の増田会につながっているんです。当時、見ず知らずの東京で、ふるさととの時間と経験を共有した仲間がいることは本当に心のよりどころになっていました。

編 同郷の仲間の存在は大きかったですね。現在はふるさと会の皆さんとどのような話をしていますか？

佐藤会長 歳を重ねてくると、実家がなくなくなってしまった「帰りにくい」という話題が多くなってきました。実家が存在していても兄弟の代でなくなっていると、やはり気を使つて帰りにくいものです。ふるさとと探訪ツアーを組むと、大人気で行きたい人が大勢いるのもそのようなことから来ていると分析しています。なので、ふるさとの人や言葉に会い、ふるさとを感じることで、ふるさとを愛する心、ふるさとを大切にしたいと思つていきます。

編 今後はどのような活動を進めたいですか？

佐藤会長 歳をとつて懐かしい場所を訪ねても、懐かしいと思うだけだなあということをしみじみと感じています(笑)。ふるさとを訪ねることは大切なことですが、ふるさとの人や様々なことに対して自分たちから接点を求めて行動していくことが必要と思つています。

例えばふるさと訪問ツアーは「人が集まるけれどもコストが高い」というような課題を、ふるさと会の中でも若い人たちが提案をもらつて解決していくような流れを作りたいと思つています。

また、私のふるさと増田はもちろんのこと、「横手」「秋田」という情報は、こちらで暮らしていても大変気にかかっています。薄れるどころか年々濃くなっています。全国的に人口減少や地方の過疎化

がニュースとなっていますが、秋田県の人口減少率が1位という記事も目にいたしました。横手市も合併後10年で人口が約1万人減つたことと、ふるさとを気に掛けたらいい、応援したいという想いは、ふるさと会員はもちろんのこと、横手で生まれ育つた人であれば年々強くなっているのではないのでしょうか。

編 おっしゃる通り、人口減少は横手市にとっても解決すべき喫緊の課題となっています。このような状況の中で市外に住む出身者となつていくという「よこてfun通信」ですが、どのような期待をお持ちですか？

佐藤会長 全国に存在する「横手への想い」をつなげたという高橋市長のお考えは、正に時代の流れを捉えた政策であり、郷土愛が原動力となつて、横手独自の地方創生につながっていくものだと思います。住んでいるところがたまたま県外だけで、気持ちは横手市民と思つている人は、私も含め国内だけでなく、世界中にたくさんいるでしょう。よこてfun通信を通して、ふるさとと全国の出身者、そして全国の出身者同士もお互いに繋がっていくことで、無数に懸け橋が出来ていく姿は、我が国の新しい地方都市の在り方を提案できるのではないかと考えています。

故郷を愛する輪がよこてfun通信により1万人、5万人と広がっていくことを期待しています。我々ふるさと会としても、一緒に横手を盛り上げるような活動をしていきたいと思つています。



佐藤 章(さとう あきら)
昭和19年生まれ(71歳)
横手市増田町出身
(主な役職)
(株)秋田設備代表取締役
東京都管工事業協同組合理事長
全国管工事業協同組合連合会 理事
首都圏横手市ふるさと会連絡協議会 会長
首都圏増田会会長
※2014年秋の叙勲で旭日双光章を受章

趣味はゴルフ、麻雀、お酒。ゴルフは夫婦でまわります。「私が教えたのに、今は教えられている」とか。



納豆屋

鶴の子
1袋(30g×2食入)540円(税込)
はじめの一口目は、そのまま、大豆本来のうま味と甘味が楽しめます。

北海道の大豆畑を視察する古屋さん。北海道十勝地方を中心とした大豆畑の情報をきめ細かく入手し、良質な大豆の確保に努めているという。

お味見セット 2,214円(税込)
鶴の子、鈴丸、光黒、秘伝、大抽振り、焼き割りそれぞれ1袋ずつ入っています。



鮭のくずかけ

海のないう横手にとって川魚は貴重なごちそう。だから、おめでたい席は鮭。キノコやいものこを添えて、横手の秋を感じる事ができる一品です。

材 料(2人分)

- ◇鮭の切り身…2切 ◇しめじ…1/4株
- ◇いものこ…2個 ◇ニンジン…2切
- ◇ホウレン草…1/4束 ◇イクラ…適量
- ◆砂糖…大さじ1/2 ◆酒…大さじ1/2 ◆みりん…大さじ1/2
- ◆しょうゆ…小さじ1 ◆塩…少々 ◆水溶き片栗粉…小さじ1

つくり方

- ①鮭に塩、酒でうすく下味をつけておく。
- ②いものこは皮をむいて下茹でし、ホウレン草も茹でて4cmほどに切っておく。
- ③鍋に調味料と水(200cc)を入れ、ひと煮立ちさせる。
- ④③に鮭を入れて煮る。火が通ったら鍋から鮭を取り出す。
- ⑤鮭を取り出した煮汁で、しめじ、ニンジンを煮る。いものこも加える。
- ⑥器に鮭、いものこなどを彩りよく盛りつける。
- ⑦煮汁に水溶き片栗粉を入れてとろみを付け、イクラを加えてあんを作る。⑥にあんをかける。

教えてくれたのは…
菅 妙子さん
栄養士として学校給食に携わり、退職後も横手産食材を活用したレシピや特産品開発等の研究、料理講習会などの食育活動に尽力。

ふるや かずひさ
昭和41年生まれ(49歳)／横手市大雄出身
昭和60年3月、秋田県立大曲高等学校卒業。
平成3年8月に実家の古屋商店に入社。平成10年2月に有限会社ふく屋を設立し、専務取締役就任。
平成24年8月1日、代表取締役就任。

有限会社ふく屋
住所／秋田県横手市大雄字田根森47-16
TEL.0182-52-3070
(HP)http://www.fukujiro.com/

有限会社ふく屋
代表取締役／納豆研究者
横手のチカラ!
古屋 和久さん

日本一高い納豆を生み出した納豆屋魂

「納豆にも鮮度があります。お客様に大豆本来の味と香りを楽しんでもらいたく、有限会社ふく屋代表取締役 古屋和久さん。そのこだわりを貫くために行ったのが徹底した温度管理と納豆生産界では異例ともいえる直接販売だった。納豆の価格競争が始まったのが平成10年前後だったと記憶しています。大手に安さで対抗することが難しくなってきたことから、あえて高品質の納豆・福治郎ブランドを立ち上げ、高級素材を扱うようになり「ました」。納豆にとって命ともいえる大豆を吟味し、通常の3倍の時間をかけて熟成。インターネットなどの通信販売を開始したことが転機となった。スーパーマーケットでこれまでの普及品を販売する一方、高級大豆を使用した納豆の百貨店等への卸売りや直販はチャレンジでした。同時に誰も挑戦したことのない分野への参入に心が躍りました。」

創業34年当時、リヤカーに納豆をのせ家々をめぐっていたのが原点と話す古屋さん。自分で作ったものを自分で

売るというスタイルに戻ろうと考えました。3食入り100円前後の商品が並ぶ中、福治郎ブランドは2食入りで250円からという価格展開。通信販売で直接食卓へ届けることで納豆の二次発酵を防ぎ、「新鮮な納豆」として差別化も確立していった。すると顧客の反応も徐々によくなり、売り上げも伸びていったという。

日本一高い納豆が誕生してから25年が経った。現在売り上げ全体を見ると、これまでの普及品が4割、福治郎ブランドが6割を占めるようになり「ました」。古屋さんの目標は直販で日本一になること。そして、贈答やおみやげの選択肢の中に納豆を根付かせること。日本人の生活に密着した納豆という食品生産に携われるのは幸せなこと。そうして誕生した福治郎納豆がお客様に届くまでのお役に立てるよう、これからはおいしい納豆づくりに励んでいきたいと思えます。唯一無二の納豆が、横手市大雄から全国の食卓に届けられています。



山内唄お踊ろう会
昭和55年に発足した、横手市山内が誇る平均年齢81歳のパフォーマンス集団

「見に来てくれた子どもや孫たちに『うちのばあちゃん、すげな』って思ってもらいたくて選曲した。しゃがめばしゃがめばもいるが簡単に覚えやすい動きにした」と高橋さん。今練習しているのは、EXILE(エグザイル)の「チュートリアル」。「練習は月2回、90分ぐれ。あとはしゃべってお茶っご飲んでは」と笑いに話す。

自分たちを見た人が喜び、笑い一緒に踊ってくれる。それがばあちゃんたちの元気のもと。普段はカートを押しているも、化粧をする芸能スイッチON!!今日もばあちゃんたちは、歌踊り、寸劇で「元気」を発信します。

おらの元氣のもと

昨年、高校時代の先輩力士力斗と同じ時津風部屋に入門。9月場所では自身最高位となる三段目西81枚目に昇進。「押し相撲が得意、相撲の基本をしっかり取り切れる力士になって、早く関取になることが目標」と語る。小さい頃、周りより体が大きかったことが相撲を始めたきっかけとか。始めたころは、「稽古が厳しくて、嫌で、嫌で仕方がなかった」とのことだが、「稽古後に食べるご飯が、とにかくうまい。これがこれまで続けてこられた源かも」と笑顔で話す。出かけることもあまりないという相撲漬けの毎日、「稽古を頑張るって、上を追い越していきたい」と気合い十分だ。三段目の力士だけでも2000人という厳しい世界。負けず嫌いの18歳は自らの力で夢の実現を目指す。将豊電のこれからに期待と注目だ。

時津風部屋 将豊電

将豊電(しょうほうりゅう) 18歳／横手市十文字町／169cm 125kg
番付／三段目 西81枚目(平成27年9月場所)
相撲を始めた時期／小学校1年生
好きな食べ物／あじまん・たこぼん
好きなミュージシャン／ジャンル不問
(最近まで)三代目 J Soul Brothers
休日の過ごし方／昼寝

「押して出す」
基本の相撲をしっかりと

がんばる横手人 第一回
よこてびと

時津風部屋 力斗

幕下、十両、その先へと
階段を一段一段進んでいきたい

力斗(りくと) 22歳／横手市平鹿町／165cm 115kg
番付／三段目 西37枚目(平成27年9月場所)
相撲を始めた時期／小学校3年生
好きな食べ物／からあげ
好きなミュージシャン／Mr.Children
休日の過ごし方／お笑い番組を見る・音楽鑑賞・友達と出かける

平鹿中学校、平成高校を卒業し時津風部屋に入門して3年。入門する前から豊ノ島関のファンで、取り組みもよく見ていたという。今は付き人としてその背中を一番近くで追いかけている。「相撲は個人競技なので、誰かに教わるよりも自分で技を盗むことが大事だと思っています。親方も、強くなるために自分で考えろ」という姿勢で、あまり口出ししません。自分を強く保って、ライバル意識をもって頑張ります」と話す。得意とするのは立合いに当たって懐に入り、「はず押し」で攻めこむ形。「まずは幕下へ上がる。それから十両、その先へと階段を一段一段しっかりと進んでいきたい」と話す。口ぶりから真面目で堅実な性格が垣間見える。活躍を期待されていることが励みになるというハートの強さで、力強い相撲に磨きをかけ、さらなる番付昇進を狙っている。

2015年10月・11月 横手市のイベント情報

- 10月4日(日) 増田「蔵の日」**
商人地主により建造された主屋や内蔵は、国登録文化財や市指定文化財などに多数指定されています。蔵の日はこの歴史的な建造物を特別公開する日で、普段は非公開となっている邸宅も含めた26棟(予定)を見学することができます。
●時間／9:00～16:00
●会場／増田町中七日町通り
●問／増田観光物産センター 「蔵の駅」TEL.0182-45-5311
- 10月11日(日)～12日(月) 地域伝統芸能全国大会**
秋田県内初の開催!! 国内外の多様な祭りや踊り、獅子舞といった伝統芸能が登場します。
●時間・会場／
秋田ふるさと村会場
(11日)11:00～18:00
(12日)11:00～16:00
富士見大通り会場
2日間とも10:00～16:00
●問／横手市まちづくり推進部 地域づくり支援課 TEL.0182-35-2266
- 10月31日(土)～11月9日(月) 菊まつり**
昭和44年から続く、横手の秋を堪能できるまつりです。愛好家が丹精こめて育てた数千本の菊の花が県内各地より一堂に集まり、多くの人の目と心を楽しませてくれます。
●時間／9:30～17:00
●会場／秋田ふるさと村
●問／(一社)横手市観光協会 TEL.0182-33-7111
- 11月7日(土)～8日(日) 保呂羽山霜月神楽**
昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定された、保呂羽山波宇志別神社に伝わる神事。夜を徹して行われ、保呂羽山など3山の神々に今年の収穫を感謝し、来る年の五穀豊稔を祈ります。
●時間／(7日)19:00～(8日)7:00 ※(7日)23:00～(8日)1:00まで休憩あり
●会場／保呂羽山波宇志別神社里宮
●問／横手市教育委員会 文化財保護課 TEL.0182-32-2403

情報交流、親睦活動などのお知らせ

こちら首都圏ふるさと会

入会のお申し込み等は、各ふるさと会へお気軽にお問い合わせください。

首都圏の
横手人
集まれ～!

首都圏増田会

「皇太子殿下が増田を訪問。横手市増田伝統的建造物群保存地区内の中七日町通りで町なみや内蔵などをご覧になりました。」



首都圏増田会総会を開催します。
(日程)11月15日(日) (会場)上野オーラム

〈代表〉会長 佐藤章 (申込・問)事務局 細野芳之助 TEL.044-722-0263

東京かまくら会

「東京かまくら会」は、旧横手市出身者のふるさと会です。毎年9月に総会が開催され、ふるさと横手を実感できます。



〈代表〉会長 向山五郎 (申込・問)事務局 木曾進 TEL.047-321-2518

関東地区大森町ふるさと会

ふるさとを離れ関東で頑張っている大森町出身の皆さんが一息寛く、沙漠の中のオアシスのような安らぎの場です。



〈代表〉会長 佐野章 (申込・問)TEL.0467-32-1846

東京平鹿町会

東京平鹿町会では昨年結成40周年を迎え、公地会長を中心に仲良く楽しみながら進取とアイデアでふるさと貢献を目指しています。



〈代表〉会長 公地晃 (申込・問)連絡事務所 高橋豊 TEL.0480-99-2150

秋田のふるさと雄物川会

創立30周年を迎え、会員数は約300名。11月末、東郷神社境内に「ザ雄物川ワールド」が出現！食べ物の秋田、寿司屋、物販の品ぞろえなどが人気です。



11月29日(日)おもものが輪@原宿・水交会
幹事一同、お待ちしております!

〈代表〉会長 奥山養三 (申込・問)事務局 鈴木信公 TEL.080-5196-9870

首都圏十文字町会

今年、首都圏十文字会が発足して30周年を迎えました。「心を寄せ合う場」として若手に勧めていきたい。



〈代表〉会長 三輪優子 (申込・問)事務局 前田十三男 TEL.090-3330-0188

さんない古里会

昭和62年9月、300名の参加で第1回さんない古里会を発足しました。現在の会員は160名です。



第28回総会を開催します。
(日程)11月1日(日) (会場)上野精養軒

〈代表〉会長 北島菊松 (申込・問)事務局 岩崎富美江 TEL.03-3684-5594

東京大雄会

東京大雄会は昭和48年に旧8ヶ市町村の在京ふるさと会の中で最初に誕生した会です。来年で44年目になります。



〈代表〉会長 栗谷秀美 (申込・問)TEL.090-4364-4490



↑完全にディーゼル化される昭和34年までは、蒸気機関車が走っていた。 ↑昭和29年から導入されたディーゼーカー。



《横荘線鉄道》
開業1918年8月18日
廃止1971年7月20日
《横手老方面》
路線総延長 38.2km



↑横荘線沼館駅のホーム。



●雄物川郷土資料館
秋田県横手市雄物川町沼館字高畑366 TEL.0182-22-2793
館内には、駅舎や列車の写真など貴重な資料が展示されています。

かつて横手盆地を横切るように横手〜老方(現由利本荘市)間を走っていた「横荘線鉄道」は、地域の人々から「横荘っこ」と親しまれた民間鉄道。大正7年に営業を開始。横手市内から浅舞、沼館、大森を通り、二井山付近からは山中のトンネルを抜けて老方まで到達していた。開業当初は「黒沢尻(現北上市)〜横手」本荘間を結ぶ大きな構想だったが、終戦後のインフレ、資材不足、水害による線路の流失により、夢はついに実現しなかった。

通勤通学、買い物や行商などに利用され多くの乗客でにぎわい、昭和46年、全線廃止となるまでの55年間人々の生活を支え続けた。廃線後は線路のほとんどが農道や県道に転用されたが、一部、築堤や橋台、トンネルなどは今も残っている。その道を通って見える田園風景や鳥海山の頂に、当時の車窓の風景が重なる。

いつもの席の女学生に抱いた淡い恋心。パンカラぶりを発揮した学生時代。そして、旅立ちに胸躍らせ故郷を後にしたホーム。笑顔と涙で手を振り見送る家族や友人。数多くの人と歴史が行き交った「横荘っこ」も今は、告知人も少ない。

2015年10月・11月 首都圏で開催される横手関連イベントの情報

10月9日(金)
丸の内 行幸マルシェ×青空市場



都会の真ん中に、気軽に郷土の食材を買って食べられる「市場」があったらどんなに楽しいだろう…。そんな想いから始まった『青空市場』に、「道の駅十文字」からおいしいものをたくさん持って参加します!

- 時間/11:00~18:00
- 会場/行幸地下通路(JR東京駅地下道直結)
- 問/十文字地域課 産業建設係 TEL.0182-42-5119

11月7日(土)~8日(日)
OTAふれあいフェスタ2015



おたくも大森?うちも大森!そんな「大森」つながりで、大田区最大級のイベントに参加します。大森町産の「うめも」いっぱい、持って行くがらな~♪

- 時間/10:00~16:00
- 会場/平和島駅周辺の3公園(東京都大田区)
- 問/大森地域課 産業建設係 TEL.0182-26-2116

11月8日(日)~9日(月)
横手市平鹿産フェア(仮称)



平鹿産の「秋の味覚」が勢ぞろい!『平鹿地域づくり協議会委員』も参加して、首都圏の皆さんをおもてなしいたします。

- 時間/10:00~16:00
- 会場/スーパーサカガミ駒込店(東京都江東区) ※JR山手線駒込駅北口より徒歩8分
- 問/平鹿地域課 産業建設係 TEL.0182-24-1118

よこての うめもの

稲庭手揉饅饨 540g(180g×3袋) 2,160円(税込)

株式会社 京家
秋田県横手市大屋寺内字堀ノ内337-2
TEL.0182-33-5918
(HP)http://www.kyouya-akita.co.jp/

三百余年の伝統と歴史を誇る『稲庭手揉饅饨』。厳選された良質の小麦と水だけを使いすべての工程を手作業で作るあげる、伝統と職人が光る逸品。熟成期間は4日間と長く、一般的なうどんよりもやや細めの麺に仕上げているのでツルリとした喉越しが特徴です。ほかに『貴女に優しい稲庭饅饨』を商品コンセプトにした細麺のうどん『稲庭饅饨 細造』もぜひ味わってほしい商品です。



伝統の手揉製法で
丁寧につまっています



特選 ロース味噌漬け 7枚 3,078円(税込)

株式会社フカサワ
秋田県横手市平鹿町樽見内字扇田126
TEL.0182-24-0100
(HP)http://www.silkpork.com

キメ細かい肉質で、冷めても固くならないやわらかな食感と肉の甘みがあり、絹のような上品さを感じることから名付けられた『シルクポーク』。『安全』と『安心』を消費者に届けるべく、厳しい生産管理のもと豚を飼育しています。『ロース味噌漬け』は甘めの味噌にロース肉を漬け込んだもの。ジューシーでやわらかく、焼くと香ばしい味噌の香りが食欲をそそります。



代表取締役
深澤重俊さん

安心・安全な
自慢の豚肉です



しっとりまんじゅう 1個 70円(税込)

有限会社 落月堂
秋田県横手市十字町西原一番町74
TEL.0182-42-0206
(HP)http://www.rogetsudo.com/

職人の五感を大切にしながら菓子づくりの工程を数値化し厳しい品質管理を実践。味にブレのない、安定した品質の和菓子を提供しています。『しっとりまんじゅう』は、キレの良い甘さのあんとしっとり蒸し上げることで生まれる、皮のしっとり&もちもち感に定評があります。佐藤社長曰く、完成に約6年という時間と手間をかけた饅頭がかわいくて仕方がないそう。独自の『柔(やわ)ら蒸し製法』による皮が主役の逸品です。



代表取締役
佐藤傳彦さん

しっとりまんじゅうが
めんどくなくてしょうがねえ

伝統の味を
お楽しみください



看板娘 佐藤真子さん



おぼろ昆布(小) 16g 324円(税込)

佐藤こんぶ店
秋田県横手市増田町増田字中町97
TEL.0182-45-3216
(HP)http://satokonbu.shop-pro.jp/

職人が伝統の技術で削り出す昆布が人気の、創業80余年の老舗昆布販売店。北海道産の『がごめ昆布』を主原料としており、『おぼろ昆布』には最高ランクの1等級品を使用。0.07ミリ以下の極薄に削っています。味噌汁、ラーメン、鍋などにはもちろん、そのまま食べても味わい深い逸品です。看板娘(左写真)もオススメする伝統の味をお楽しみください。

編集後記

創刊号では、横手から出て厳しい世界で頑張っている若者、時津風部屋の力斗と特豊竜を取り上げました。本場所午後六時の終了間際に「秋田県横手市出身」とアナウンスされる日を夢見て、みんなで応援しましょう！今後も、両力士の各場所の星取りを掲載していきます。両国近辺の皆さま～！2人を見かけたら声を掛けてあげてくださいね～！【山本】

読者プレゼント

1～5の商品をそれぞれ2名様にプレゼントいたします。
応募締切/10月15日(木)消印有効



1 稲庭手揉饅饨
(180g×3袋)
(提供/株式会社 京家)



2 特選 ロース味噌漬け
(提供/株式会社 フカサワ)



3 しっとりまんじゅう
(9個入 化粧箱付)
(提供/有限会社 落月堂)



4 昆布詰め合わせ
※写真は一例です。
(提供/佐藤こんぶ店)



5 お味見セット
(高級納豆6種類入)
(提供/有限会社 ふく屋)

〈応募方法〉官製はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤希望プレゼント番号⑥よこてfun通信の感想⑦横手の思い出を明記の上、下記までご応募ください。

〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号 横手の魅力営業課「よこてfun通信 プレゼント」係

【個人情報の取り扱いについて】

- 応募ハガキで得られた個人情報は発送目的以外に利用することはありません。
- 当選者は厳正なる抽選の上、決定いたします。発表は当選者様へのご連絡をもって代えさせていただきます。
- ご応募の受付・受理、ご当選の確認に関するお問い合わせにはお答えできません。